

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2020年10月11日



## 市長「市バス等運賃値上げ」!?

### 「財政危機」は市民リストラへの葵の御紋か打出の小づちか

#### Ⅱ 市議会各党代表質問・決算委員会 Ⅱ

9月30日・10月1日、市議会本会議で各党代表質問。日本共産党からも同僚議員3人が質問、市民の要求実現を求めました。答弁の中で、市長は、特に「交通事業について、最悪の場合、運賃・路線・ダイヤの見直し」と、今後の値上げを示唆しました。

また決算委員会では井上けんじ議員も市の言う「財政危機」打開への本気度について追及。国の責任にも触れず、市自身も大型事業のムダ遣い等、本気度が弱いというより、市民へのしわ寄せが先にありきなのか、と指摘しました。主な質問と市長らの答弁の要旨を紹介します(次号にも続きます)。

- 質問Ⅱコロナ対策充 査体制も強化していく。
  - 保健所の各区への設置復活を。
  - 文化芸術への支援を。
  - アンケート調査も実
- ↓ 答弁Ⅱ事業者への支援 置復活を。
- ↓ 援策を充実、診療・検査 考えていない。

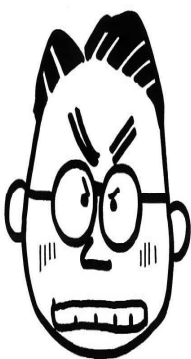


## 憲法守る集会

地方自治や戦争放棄、基本的人権などを謳っている憲法を守ろうと、4日、憲法集会が開かれ、井上議員も参加しました。

講演された冨田宏治教授は、選挙について、「行かない人が悪いのではなく、政治に関心を持ってないほど生活に追われているから」と指摘、「みんなで暮らしを良くしようと呼びかけよう」と、訴えられました。

議会には①本会議と②委員会があります。②は、議員が5つの常任委員会に分かれ(年度毎Ⅱ今年度、井上議員は総務消防委員会委員長)、通常、二週間毎に開催。春・秋の予算・決算委員会も重要。市長らと具体的な質疑応答。①は、66人の議員全員で開催。年4回の各党代表質問の他、最大の役割は税金や公共料金、各施策の内容等々を決めること。



## 市長の言う「財政危機」を問う

- 地球温暖化対策の充実を。
- 2050年温暖化ガス排出ゼロめざし、再生エネルギーの普及を期す。
- 学校で、20人程度の少人数学級の実現を。
- 本市独自ではお金がないが、国において議論が進められている。
- 現行敬老乗車証制度を堅持せよ。
- 幅広い観点で検討中。
- 学生の生活・勉強への支援を。
- 授業料や生活費など負担減を国に要望中。
- 外国人観光客誘致より

市長先頭に「財政危機」が強調されています。井上議員は「危機打開に向けては、国への追及や市の大型事業の見直しが必要。そこを避けて市民向け施策の見直しばかりが議論されている。『危機』の御紋を掲げれば市民リストラは何でもありか」と追及しました。

● 井上議員Ⅱ国の大企業大幅減税が市の法人市民税の減収に連動している。国に減税を見直すよう要求を。

↓ 国の税率に基づいて市の税金額も決まってくる(答えにならない)。

● 高額所得市民の市民税率を以前のように引き上げを。

↓ 国の法律で決まっている(それに対する見解を聞いているのに)。

● 鴨川東岸線など市のムダな大型事業中止を。↓ 予定通り進める。



陥没していた道路の緊急補修

市民の住環境を守れ。↓ 観光消費額は京都の経済にとってプラス。民泊事業者には住環境守るよう指導している。